



木の根と土の関係性

根には、水分や養分を土から吸い上げたり、自分の身体を支えたりする大切な役割があります。根が充分でなければ、木は生きていられないし、立っていません。大切ですが、枝や葉と違って土の中にあるため、見るができないものです。

土は、その場所の生態系や環境によって成り立つものであるため、土地柄がにじみ出ます。山間や河川沿い、海岸沿いなどで特徴は異なり、非常に多様です。一方で、木はもともと自然に分布している地域の環境と土を好みます。嫌いな土の場合は根が伸びず、木が弱っていく原因となります。土と木はどちらも多様であり、とても難しい関係です。人が土や木を外から持ってきて造成した場所においては、土と木の相性が合っていないことがよくあります。

造成した場所でその木の活力が全体的に衰えていれば、土を調べます。調べた結果、木と土の相性が悪い時は、土をその木にとって適したものに改良することで、木を元気にできる場合があります。



全体的に活力が衰えていれば・・・



土を調べます